| 学校番号 | 3016 |
|---|---|

# 令和５年度　工業科（産業創造系）

| 教科 | 工業 | 科目 | デザイン史 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | デザイン史 | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

作者の思想や感情、また人間の生活やそれを取り巻く自然や社会環境をも反映している造形文化の歴史を、資料や実物を例にあげながらデザインの流れを学ぶ。また得た知識はこれからのデザイン活動の裏付けとなり、新しい視野を広げるということについても学ぶ。

## ２　学習の到達目標

過去を通して現在の自分の位置デザインを通して確かめ、時代や地域の座標の中で自己のあり方を再認識する。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・様々な時代のデザインがどのように派生し、人々に広まっていったのかということに深い関心をもち、その要因についてより深く学ぼうとする態度が見られる。 | ・時代の背景からデザインを位置づけ、そのデザインがどのように形成されてきたのかということを、根拠を持って、文字や言葉で表現することができる。 | ・先人たちのデザインを自分自身でトレースすることで、自分の作品制作技術を向上させることに生かし、また学んだことをレポートにまとめることができる。 | ・デザインスタイルの名称や、有名なデザイナー、有名な作品について説明できるとともに、自分の作品に反映することができる。 |
| 評価方法 | 定期考査<br>提出物<br>授業態度<br>観察<br>小テストなど | 定期考査<br>提出物<br>授業態度<br>観察<br>小テストなど | 定期考査<br>提出物<br>授業態度<br>観察<br>小テストなど | 定期考査<br>提出物<br>授業態度<br>観察<br>小テストなど |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 日本　原始・古代のデザイン | ・原始時代<br>・飛鳥時代<br>・奈良時代<br>・平安時代 | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | a:積極的に授業に取り組み、日本の原始古代の時代のデザインを理解しようとする態度がみられるか。<br>b:時代の背景から原始・古代のデザインを概観し、自分でそのデザインが現れた根拠について考え、表現できるか。<br>c:その当時のデザインを、画材を使って再現したり、学んだ内容をレポートで人に伝えられるか。<br>d:日本の原始の住まい、生活用具、装飾古墳と原始絵画に興味を持ち、知識を得ることができるか。 | 定期考査<br>提出物<br>授業態度<br>小テストなど |
| | 日本　中世のデザイン | ・鎌倉時代<br>・室町時代 | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | a:積極的に授業に取り組み、日本の中世の時代のデザインを理解しようとする態度がみられるか。<br>b:時代の背景から中世のデザインを概観し、自分でそのデザインが現れた根拠について考え、表現できるか。<br>c:その当時のデザインを、画材を使って再現したり、学んだ内容をレポートで人に伝えられるか。<br>d:中世の時代背景を理解し、人々の暮らし、生活用具、主教と造形の関連性に興味を持ち、知識を得ることができるか。 | 定期考査<br>提出物<br>授業態度<br>小テストなど |
| | 日本　近世のデザイン | ・桃山時代<br>・江戸時代 | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | a:積極的に授業に取り組み、日本の近世の時代のデザインを理解しようとする態度がみられるか。<br>b:時代の背景から近世のデザインを概観し、自分でそのデザインが現れた根拠について考え、表現できるか。<br>c:その当時のデザインを、画材を使って再現したり、学んだ内容をレポートで人に伝えられるか。<br>d:近世の時代背景を理解し、人々の暮らし、建築物やその意匠、美術工芸品に興味を持ち、知識を得ることができるか。 | 定期考査<br>提出物<br>授業態度<br>小テストなど |
| | 日本　近代のデザイン | ・明治大正時代<br>・昭和時代前期 | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | a:積極的に授業に取り組み、日本の近代の時代のデザインを理解しようとする態度がみられるか。<br>b:時代の背景から近代のデザインを概観し、自分でそのデザインが現れた根拠について考え、表現できるか。<br>c:その当時のデザインを、画材を使って再現したり、学んだ内容をレポートで人に伝えられるか。<br>d:近代の時代背景を理解し、人々の暮らし、建築物やその意匠、美術工芸品に興味を持ち、知識を得ることができるか。 | 定期考査<br>提出物<br>授業態度<br>小テストなど |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 西洋 原始・古代のデザイン | ・オリエント<br>・エーゲ海文明<br>・ギリシャ<br>・ローマ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | a:積極的に授業に取り組み、西洋の原始・古代の時代のデザインを理解しようとする態度がみられるか。<br>b:時代の背景から原始・古代のデザインを概観し、自分でそのデザインが現れた根拠について考え、表現できるか。<br>c:その当時のデザインを、画材を使って再現したり、学んだ内容をレポートで人に伝えられるか。<br>d:各地域の時代背景を理解し、建築物や美術工芸品に興味を持ち、知識を得ることができるか。 | 定期考査<br>提出物<br>授業態度<br>小テストなど |
| | 西洋・中世のデザイン | ・ビザンチン<br>・イスラム<br>・ロマネスク<br>・ゴシック | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | a:積極的に授業に取り組み、西洋中世の時代のデザインを理解しようとする態度がみられるか。<br>b:時代の背景から中世のデザインを概観し、自分でそのデザインが現れた根拠について考え、表現できるか。<br>c:その当時のデザインを、画材を使って再現したり、学んだ内容をレポートで人に伝えられるか。<br>d:中世の時代背景を理解し、宗教と造形との関連性、建築物とその意匠、家具工芸に興味を持ち、知識を得ることができるか。 | 定期考査<br>提出物<br>授業態度<br>小テストなど |
| | 西洋・近世のデザイン | ・ルネッサンス<br>・バロック<br>・ロココと新古典主義 | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | a:積極的に授業に取り組み、西洋の近世の時代のデザインを理解しようとする態度がみられるか。<br>b:時代の背景から近世のデザインを概観し、自分でそのデザインが現れた根拠について考え、表現できるか。<br>c:その当時のデザインを、画材を使って再現したり、学んだ内容をレポートで人に伝えられるか。<br>d:近世ヨーロッパ各国の各地域の時代背景を理解し、街の様子、建築物とその意匠、家具工芸品に興味を持ち、知識を得ることができるか。 | 定期考査<br>提出物<br>授業態度<br>小テストなど |
| 3学期 | 近代・現代のデザイン | ・近代デザインのはじまり<br>・成立と展開<br>・産業の発展とデザイン<br>・現代デザインの諸問題 | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br><br>○<br> | ○<br>○<br>○<br>○ | a:積極的に授業に取り組み、西洋の近代・現代の時代のデザインを理解しようとする態度がみられるか。<br>b:時代の背景から近代・現代のデザインを概観し、自分でそのデザインが現れた根拠について考え、表現できるか。<br>c:その当時のデザインを、画材を使って再現したり、学んだ内容をレポートで人に伝えられるか。<br>d:産業革命後の生産技術の大改革とデザイナーという職能の誕生、また戦後の科学技術を背景とした産業発展下のデザインの振興について、その時代背景から理解し、現代のデザインが直面する問題を自ら考えることができるか。 | 定期考査<br>提出物<br>授業態度<br>小テストなど |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。